

目次

[概要](#)

[TANDBERG Codian IP VCR を使用して Polycom MGC の会議の記録](#)

[関連情報](#)

概要

この技術情報は Cisco TelePresence IP VCR 2210 および Cisco TelePresence VCR MSE 8220 製品に関連しています。

Q. TANDBERG Codian IP VCR を使用して Polycom MGC の会議の記録

A. Polycom MGC の会議を記録するのに Codian IP VCR を使用できます。

これをするために IP VCR および Polycom 両方 MGC のある特定の設定を行って下さい。

IP VCR を設定するため:

1. **記録物 > フォルダ**に行ってください。
2. に記録したいと思うフォルダ名の隣で『Configuration』 をクリックして下さい。
3. 記録 ID のメモを作って下さい。ID が割り当てられない場合、記録 ID フィールドに 1 つを入力して下さい。
4. **設定 > 記録物**に行ってください。
5. 記録されている参加要素に送信ビデオを常に選択して下さい。
6. **フォルダ**を『Update』 をクリックして下さい。

このページと (フォルダを追加し、アップデートする) 関連付けられる各フィールドについての詳細な情報についてはオンラインヘルプトピックを参照して下さい。

Polycom MGC を設定するため:

1. MGC の Web インターフェイスで、**MCU 設定 > プロファイル**に行ってください。
2. 右クリックは新しい参加要素を追加するか、または**参加要素 > Add** に新しい**参加要素**行きます。これは New ウィンドウで開きます。
3. 参加要素 IP に関しては、IP VCR の IP アドレスを入力して下さい。
4. エイリアス型に関しては、パーティ数を選択して下さい。
5. エイリアス名前および拡張/識別子 スtring に関しては、記録 ID (上記参照) を入力して下さい。他のフィールドを要求に応じて記入して下さい。
6. **注** Polycom MGC および IP VCR のために同じゲートキーパーを使用している場合、記録 ID を使用することは必要であるただはずです。

Polycom MGC のコンテンツ チャネルの会議を記録する場合のビデオ問題

時折ビデオ問題は Codian IP VCR の Polycom MGC からのコンテンツ チャネルの会議を記録するとき見られる場合があります。コンテンツ チャネルは時々ぼやけているようであることができますおよび/または点滅カラリングされたブロックは見られる場合があります。

低質は送信コンテンツのために Polycom 製品によって使用する H.263+ によって呼出される別館 T に拡張が理由でそうなったものです。

エンドポイントは別館 T の使用から MGC の system.cfg ファイルへオプションを追加することによってコンテンツをソフトウェア バージョン 7.5.1 およびそれ以降を実行する MGC に送信するときことができます防ぐ。

これを行うには、

1. Polycom MGC マネージャから、ツリー表示および選定された **MCU Utils** の MGC の名前を右クリックし、次に「**system.cfg**」を編集して下さい。
2. 個人 PLUS コンテンツ セクションにナビゲートし、ENABLE_H239_ANNEX_T 項目を探して下さい。
3. 存在する項目がに値を設定しなかったら; さもなければ項目を『Add』をクリックし、値の ENABLE_H239_ANNEX_T をのいいえ追加して下さい
4. コンフィギュレーション ファイルを保存するために『OK』をクリックして下さい。
5. MGC を変更を有効にするためにリポートして下さい。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)